

17日に四国4県を舞台に開幕した2023年度全国中学校体育大会（全中）は、柔道と水泳の2競技が鳴門アミノバリューホールなどで行われた。徳島県勢は、柔道女子団体の生光学園が予選リーグを2戦全勝の1位で通過した後、16チームによる決勝トーナメントの1回戦で富士学苑（山梨）に1-2で敗れ、8強入りを逃した。開催地松

全国中学校 2023

体育大会

第1日

○富	西	○深	前	小	(長崎)	小佐々	内客勝ち	△徳島関係と決勝	鳴門アミノバリューホール
広	島	条	江	川	宗	引け分	【女子】団体予選リーグF組	【女子】団体予選リーグF組	【女子】団体予選リーグF組
永	3	1	0	優勢	け	技合せ	上板	上板	上板
技合せ	上	佐	松	空	保	板	M組	M組	M組
李	上	佐	野	尾	保	板	上板は予選リーグ敗退	上板は予選リーグ敗退	上板は予選リーグ敗退
保	板	○岡	生光学園	○渡	○小	○岡	生光学園	○大	○近藤
○小	○岡	畠田園	谷	畠田	め	○小	生光学園	田合せ	田合せ
畠	田	園	内股	田	け	田	3-0	田	田
技合せ	優勢	2-0	長田富	桐	め	新発	3-0	佐野	佐野
平	宝	大分洲	邊櫻生	生	固	潟田一	潟田一	尾	尾
野	宝	長田富	桐	生	新発	潟田一	新発	新発	新発
た。悔し涙が止まらなかつた。地元優勝を狙つた生光学校園女子は、決勝ト1回戦で富士学園(山梨)に1-2で敗れた。8強入りもかなわなかつた。反則負けを喫した大将涉谷は「相手の力	が上だった」とうなだれた。		生光学園は決勝トーナメント進	渋谷	引見方	霜山	山	岡	山委
が上だった」とうなだれた。	相手の大将は昨年の個		が上だった」とうなだれた。	岡	岡	岡	岡	岡	岡
人戦4強のつわもの。選手たちは「前の2人で決	相手の大将は昨年の個		めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	田	田	田	田	田	田
手たちは「前の2人で決	相手の大将は昨年の個		めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	○	○	○	○	○	○
めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	相手の大将は昨年の個		めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	四四方	四四方	四四方	四四方	四四方	四四方
めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	相手の大将は昨年の個		めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	岡	岡	岡	岡	岡	岡
めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	相手の大将は昨年の個		めよう」と先手必勝を掲げて臺に上がつた。プラ	田	田	田	田	田	田

生光学園女子 8 強逃す

で出場した上板は予選リーグで2敗の3位となり、決勝トーナメントに進めなかつた。水泳は女子800㍍自由形の渕上結夢（鴨島一）が自身の県中学記録を上回る9分7秒46で上位8人に入り、18日の決勝に進出した。第2日は軟式野球、柔道、剣道、相撲、新体操、水泳の6競技が予定されている。

(1面参照)



女子団体決勝トーナメント1回戦・生光学園対富士学苑
手を取り合う生光学園の岡田（左）＝鳴門アミノバリューホール（立花善晴撮影）

たが、中堅戦は後がなかなか相手の猛攻に、小畑が後手に回ってしまう。自ら技を掛けられず、最後は寝技で敗退。「何でもきくに負けてしまった」と大粒の涙を流した。
普段から一緒に練習する生光学園高は、頂点を目指した全国高校総体で8強入りを逃した。「一生光はもっと強いと全國に示そう」。先輩の無念を全部で晴らすはずだったが、力を出し切れなかつた。小畑主将は「気持ち切り替えてをぶつける」と前を向いた。

の岡田が開始41秒に綱四方固めで一本勝ち。崩れた相手の下に潜り込み、つかんだ襟を引き付けて反転させた。流れをつくる役割を果たし、「得意な形で決められた」と振り返った。

勝	○勝	○矢
五 條 東	▽決勝	黃
(奈 良)	又	眉
五 條 東	反則勝	眉固及
は4年ぶり2度目の優	ち	小
勝	渋	小
1 — 0	谷	畠
敬	渋	畠
(福 岡)	谷	畠
愛		